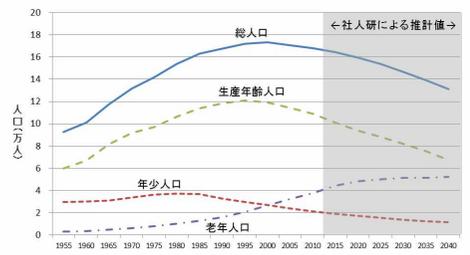


帯広市人口ビジョンの概要

○これまでの人口動態や将来の人口推計を分析し、目指すべき方向と人口の将来展望を提示するもの。 ○対象期間は2060(平成72)年まで

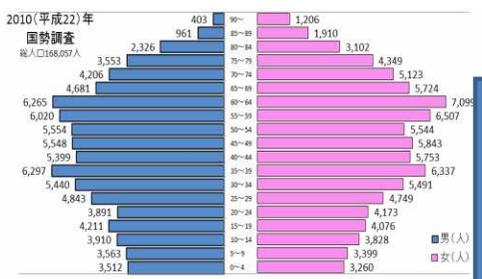
人口の現状・分析

総人口



帯広市の総人口と年齢3区分別人口の推移

- ・平成12年以降減少傾向。社人研推計では2040年に13万1千人台に
- ・生産年齢人口割合の減少 (H2 70.8%→H22 64.9%)
- ・年少人口割合の減少 (H2 19.7%→H22 12.8%)
- ・老年人口割合の増加 (H2 9.5%→H22 22.3%)

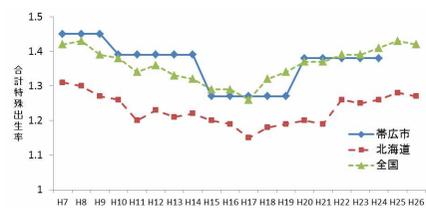


自然動態



出生・死亡数と自然動態の推移

- ・平成22年から自然動態はマイナス
- ・出生数の減少 (H2 2,029人→H22 1,373人)
- ・死亡数の増加 (H2 923人→H22 1,462人)



合計特殊出生率の推移

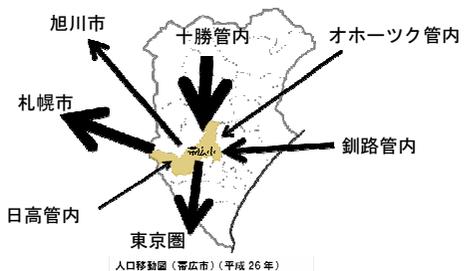
- ・合計特殊出生率は北海道平均より高く、国とほぼ同水準

社会動態



社会動態の推移

- ・転入、転出とも総数が2割程度減少
- ・進学や就職での首都圏、道央への流出



人口移動圏(帯広市)(平成26年)

- ・十勝管内や東北道各地からは転入超過
- ・一方で東京圏や札幌市には大きく転出超過

目指すべき将来の方向

○自然動態の改善に向けて

- ・若者の雇用や収入の安定を図りつつ、仕事と家庭・子育ての両立を推進する取り組みなどを同時にすすめ、結婚や出産・子育ての希望がかなう社会環境の実現を目指します。

○社会動態の改善に向けて

- ・転入の拡大と転出の抑制のため、魅力ある仕事の創出に取り組みます。
- ・情報発信を充実させ、十勝・帯広への新たなひとの流れを生み出すことを目指します。

人口の将来展望

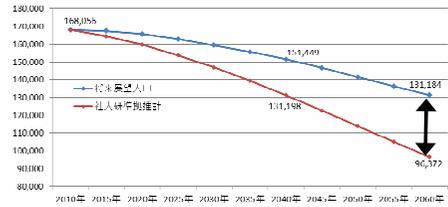
○自然動態の展望

- ・合計特殊出生率が2040年に2.07まで上昇すると展望 (国、北海道の展望と同値)

○社会動態の展望

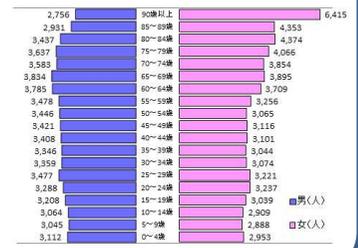
- ・概ね10年間で800人程度の転入超過が続くものと展望 (近年の社会動態は平均で年間40人程度の転入超過)

将来展望人口



社人研準拠推計と比べると2060年で約3万5千人の差

人口ピラミッドは各年代がほぼ均等で、将来的な安定が見込める



将来展望人口の人口ピラミッド(2060年)